

平成25年度後期プレアボイド報告

平成25年9月から平成26年2月末までに未然回避出来た報告例(平成25年9月集計)

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法		
1	女性	79歳			調剤監査	医薬品情報提供	禁忌	ベンシア錠2.5mg	1錠	夕食後	中止			薬剤中止	2014/2/14
【報告者のコメント】緑内障に禁忌薬を再確認しました。手帳に緑内障治療薬が記載されておらず、患者様の発現により回避できました。															
2	女性	81歳	芍薬甘草等でおくみ		調剤監査	処方箋	併用禁忌	フルボキサミン25mg ロゼレム8mg	1錠 1錠	夕食後 就寝前	セディール錠10 ロゼレム8mg	1錠 1錠	夕食後 就寝前	薬剤変更	2014/2/14
【報告者のコメント】高齢の方での未然服用を回避できてよかったです。															
3	男性	40歳		ペーチェット病・潰瘍性大腸炎	処方箋監査・薬剤管理指導	処方箋	過量投与 誤転記・誤処方	メトレート2mg	4錠	2X 日・月曜日	メトレート2mg	2錠	2X 日・月曜日	薬剤減量	2014/3/7
【報告者のコメント】メトレート6mg/週から8mg/週に変更のつもりが、処方医が誤って16mg/週処方していた。増え方が急であった為疑義照会した。															
4	女性	78歳		緑内障	調剤	医師からの相談	誤転記・誤処方	アゾルガ配合点眼	5ml	2回	ザラカム配合点眼	2.5ml	1回朝	薬剤変更	2014/3/7
【報告者のコメント】キサラン点眼+チモロール点眼 使用中の患者さんにアゾルガ配合点眼(βブロッカー+炭酸脱水酵素阻害)がキサラン(PG)、チモロール(βブロッカー)共に中止で単独処方。あえてメインで薬効を期待するキサランを中止の理由も含め疑義照会。ザラカム配合点眼(PG+βブロッカー)に訂正となる。(処方記載ミス)															
5	女性	50歳		関節リウマチ	処方箋監査	処方箋	誤転記・誤処方	アザルフィジン EN500mg錠	500mg /1日	2回	アザルフィジン EN500mg錠	1000mg /1日	2回	薬剤増量	2014/3/7
【報告者のコメント】アザルフィジンEN錠は腸溶剤のため半錠は不可、250mg錠への変更を提案するも、投与量の記載ミスであることが判明し、アザルフィジンEN500mg1T2X→2T2Xへ変更になった。															
6	女性	70歳		双極性障害	薬剤管理指導	薬歴	その他の副作用	ラミクタール25mg スリプリド・ハルシオン	1錠 各1錠	夕食後	ラミクタール中止 スリプリド・ハルシオン	各1錠			2013/10/22
【報告者のコメント】患者薬歴により、H24.2月にラミクタール服用後、発疹が出て中止になった経歴有、医師に疑義照会後ラミクタール中止となる。															
7	男性	40歳			処方箋監査	処方箋	過量投与	ベザフィブラートSR200	3錠	毎食後	ベザフィブラートSR200	2錠	朝夕食後	薬剤減量 用法変更	2013/11/6
【報告者のコメント】他科処方薬を当科医師が患者の希望に応じ処方を行った。その際、お薬手帳の記録を元にされたが、思い込みにより発生した事例。カリ、アロニール、ベザフィブラート朝夕食後を朝昼夕と見間違っただけに起きた事例															
8	女性	78歳		紅斑	処方監査	処方箋	過量投与	ハルシオン0.25mg	1.5錠	寝る前	ハルシオン0.25mg インクリン5mg	1錠 1錠	寝る前	薬剤変更	2014/3/6
【報告者のコメント】ハルシオンの処方量が高齢者の上限を超えているため、疑義照会にて処方変更となる。															
9	男性	40歳			薬剤管理指導	医薬品情報提供	重複投与	フロモックス100mg ロキソニン60mg	3錠 3錠	毎食後	フロモックス100mg	3錠	毎食後	薬剤中止	2014/3/7
【報告者のコメント】A歯科医院よりロキソニン錠処方、他科受診の有無を確認したところ、B整形外科医院にてセレコックス錠100を服用中である事がわかる。A歯科医院へ疑義照会しロキソニン錠が中止															
10	男性	40歳				医薬品情報提供	禁忌	ユリノーム25mg	1錠	朝食後	アロプリノール100mg	2錠	朝夕食後	薬剤変更	2014/3/5
【報告者のコメント】毎年の検診で肝機能異常あり。ユリノームは肝障害の患者には禁忌の為、疑義照会でアロプリノールに変更															
11	女性	30歳		うつ病・不眠症	処方監査	処方された薬と患者の症状や年齢の不一致	誤転記・誤処方	パファリンA81mg	1錠	頓服	パファリン錠330mg	1錠	頭痛時	薬剤増量	2014/2/14
【報告者のコメント】パファリンA81が初めて処方されたが、患者の年齢を考えるとパファリン330の間違いかも知れないと思い、疑義照会、病名を確認すると頭痛との回答であったため、パファリン330へ変更提案し変更															
12	男性	80歳			処方箋監査	薬歴	過量投与	クラビット錠500mg	1錠	朝食後	クラビット500mg	0.5錠	朝食後	薬剤減量	2014/1/14
【報告者のコメント】1週間前にクラビット錠500mg分1朝食後1日分、0.5錠分1朝食後3日分で腎機能を考慮したCcr<20の投与量で処方されていた。増量の理由がはっきりしないこと、担当医も変わっていたので疑義照会。記載されていた量より減らした形に変更となる。															
13	男性	20歳			処方箋監査	患者の症状	誤転記・誤処方	パナルジン100mg	2錠	朝夕食後	パナルジン錠100mg	2錠	朝夕食後	薬剤変更	2013/12/19
【報告者のコメント】新患問診時、腫れ・炎症の訴えがあり。パナルジン錠が処方されていたが、服用歴もない為、医師に疑義照会したところ、パナルジン錠の処方であったことが判明。															
14	女性	80歳			調剤	お薬手帳	同種同効薬重複	デノスタチン配合錠	2錠	朝食後	変更なし			服薬指導	2013/9/12
【報告者のコメント】他院で「エディロールアセル」が継続して処方されていることを手帳にて確認。ビタミンD系の重複で処方医に疑義照会。医師は併用薬があったことを把握しておらず、本処方を優先して、他院の「エディロール」を中止するよう患者に説明してほしいとの回答を得る。															
15	女性	20歳			処方箋監査	処方箋	誤転記・誤処方	ヒスロンH錠200mg	1錠	朝食後	ヒスロン5mg	1錠	朝食後	薬剤変更	2013/9/12
【報告者のコメント】ヒスロンH200mgは乳癌、子宮体癌に適応があり、一般的な投与量より極端に少なかったこと、診療科が婦人科であったこと、患者年齢が若く、過去に抗がん剤等の使用歴も見当たらないことから薬剤の選択ミスを疑い疑義照会となった事例															
16	男性	64歳		高血圧・痛風、気管支喘息	調剤監査 薬剤管理指導	お薬手帳 持参薬チェック	禁忌	ミケランLA点眼液	5ml	1回両眼	タブロス点眼液	5ml	1回両眼	薬剤変更	2014/2/6
【報告者のコメント】数年前から緑内障の治療のためミケランLA点眼2%を使用していた。通常3月に1回受診来局しており先月から他院で喘息の治療の為シングレアを服用していることをお薬手帳にて確認、ご本人より医師には伝えていないとのこと疑義照会を行った。															
17	女性	60歳		パーキンソン病 高血圧	薬剤管理指導	患者の訴え	併用禁忌	ベンシア錠5mg	1錠	朝食後	中止			薬剤中止	2014/
【報告者のコメント】他科受診、併用薬はないとのことだったため、緑内障に気づかずベンシアを投与、手帳の注意事項に閉塞隅角緑内障の方は服用を避けるように記載していた為、本人様が気づき眼科に問い合わせられ、処方中止となる。															
18	女性	6歳			処方監査	処方箋	用量誤処方	ムコダインシロップ	6ml	毎食後	ムコダインシロップ	12ml	毎食後	薬剤増量	2014/3/6
【報告者のコメント】6歳 20kgより、ムコダインシロップの用量が少ないので疑義照会後薬剤量変更となった事例															